



図書館だより 9月号

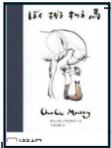
2024年9月発行 江南市立西部中学校 図書館司書 木本規志子



猛暑日が続いた夏休み。外出をさせて、家にいた人も多かったでしょう。新学期がはじまり、生活のリズムがつかめず、すこし疲れたときはぜひ図書館にきてください。読書には癒しの効果があるといわれています。文字を読むのが苦手な人も、海外の写真集や絵本など開いてみましょう。



おすすめ本



「ぼく モグラ キツネ 馬」 チャーリー・マッケンジー／飛鳥新社

この本には、たくさんの絵が描かれています。本が苦手な人も楽しんで読むことができます。“ぼく”がつぶやく疑問に“モグラ”の返す言葉が弱った心に染み込みます。モグラの言葉は、「じぶんにやさしくすることが、いちばんのやさしさなんだ」です。嫌なこと悲しいことがあったときは、この本を開いてみてください。きっと自分にやさしくなれると思います。



「ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」 (JUMP j BOOK) 古館 春一原作／集英社

話題映画のノベライズです。春高バレーの3回戦で、因縁のライバル・音駒高校と対戦することとなった烏野高校排球部。幾度となく重ねてきた練習試合では味わえない、“もう一回”が無い闘い。メンバーのセリフに体の中から湧いてくる力をもらいました。体のやる気スイッチが入らない人におすすめです。



「ジブリの立体建造物展 図録」 スタジオジブリ編集 ／トゥーヴァージンズ

『風の谷のナウシカ』から『思い出のマーニー』まで——ジブリ作品に登場する、どこかに存在していそうな架空の建造物。その印象的な建物に注目し、展覧会の監修を務めた建築家・藤森照信氏による詳細解説、宮崎駿監督の文章と共に、設計の源に触れる一冊。



「もしものせかい」 ヨシタケシンスケ ／赤ちゃんとママ社

心にぽっかり空いた穴はどうやって埋めたらいいのかを語りかけてくれる優しい物語。

(出版社内容紹介より)



図書館からのお知らせ



- ・夏休み特別貸出(夏休み期間中の貸出)の本を**9/6(金)**までに返却してください。開館中に図書館に来られない人は返却ボックスに入れてください。
- ・図書委員会による**頭文字(イニシャル)キャンペーン実施中!**
9/6 返却分まで対象です。

第171回芥川賞・直木賞

7月17日東京で芥川賞、直木賞の選考会が開かれて、受賞作が発表されました。

芥川賞・直木賞って？

★芥川賞…芥川龍之介を記念し菊池寛によって、昭和10年に制定された文学賞。雑誌などに発表された文学作品から選ばれます。新人作家の登竜門ともいわれる賞です。



芥川 龍之介



菊池寛



直木三十五

★直木賞…小説家・脚本家の直木三十五(なおきさんじゅうご)を記念し、菊池寛によって芥川賞と同じ昭和10年に制定された文学賞。単行本で出版されたエンターテインメント作品の中から選ばれます。

第171回芥川賞受賞作

(出版社内容紹介より)



「サンショウウオの四十九日」

朝比奈 秋/新潮社

周りからは一人に見える。でも私のすぐ隣にいるのは別のわたし。不思議なことはなにもない。けれど姉妹は考える、隣のあなたは誰なのか？そして今これを考えているのは誰なのか——三島賞受賞作『植物少女』の衝撃再び。最も注目される作家が医師としての経験と驚異の想像力で人生の普遍を描く、世界が初めて出会う物語。



「バリ山行」

松永K三蔵/講談社

内装リフォーム会社から転職して2年。会社の付き合いを極力避けてきた波多は同僚に誘われるまま六甲山登山に参加する。その後、社内登山グループは正式な登山部となり、波多も親睦を図る目的の気楽な活動をするようになっていたが、職人気質で変人扱いされ孤立しているベテラン社員妻鹿が、あえて登山路を外れる難易度の高い登山「バリ山行」をしていることを知ると……。会社も人生も山あり谷あり、バリの達人と危険な道行き。圧倒的生の実感を求め、山と人生を重ねて瞑走する純文山岳小説。



入荷検討中です。

第171回直木賞受賞作



ツミデミック

一穂ミチ/光文社

大学を中退し、夜の街で客引きのバイトをしている優斗。ある日、バイト中に話しかけてきた大阪弁の女は、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗ったが——「違う羽の鳥」失業中で家に籠もりがちな恭一。ある日小一の息子・隼が遊びから帰ってくると、聖徳太子の描かれた旧一万円札を持っていた。近隣の一軒家に住む老人にもらったというそれをたばこ代に使ってしまった恭一だが——「特別縁故者」鮮烈なる“犯罪”小説全6話。